

2. (Gno.2) 犯罪学・被害者学の比較研究 (中央大学犯罪学研究会)

代表：四方 光

1978/10/27 (承認) 1979 年度 (開始)

【研究の目的】

1960 年代にラベリング理論が台頭し、1970 年代にはラディカルクリミノロジーが出現した後を受けて、1980 年代の犯罪学は理論の転換期をむかえている。このような転換の時代にあっては、現代の理論の最新の動向を紹介することに加えて、更にその理論研究の基礎を形成する探求が必要とされている。そこで当研究会は、この犯罪学の基礎研究の出発点として、アメリカ犯罪学上重要と思われる専門用語を選び出し、それらについての解説を試みたい。